



平成27年11月12日

国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所

暮らしを支える港について学習

～三島市立北上小学校で出前講座を実施～

1. 概要：

10月26日(月)、三島市立北上小学校で国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所職員が講師を務める出前講座*を行いました。

今回は、三島市立北上小学校の要請を受け、5年生72名と先生方が貿易を通じて暮らしや産業を支える港の役割や機能などを学習することを目的に学校に出向いて講座を開きました。

当日は、当事務所職員より港の役割に加え、清水港の特徴や施設を含めた機能などが説明され、生徒達は、真剣に説明を聞きながら熱心にメモを取る姿が窺えました。

このような講座によって港が身近な存在となり、港への関心が高まることを期待しています。

* 出前講座とは・・・国土交通省では、私達の行っている事業や施策についてもっと知っていただくとともに、みなさんのご意見や生の声を聞かせていただく場として「出前講座」を行っております。

2. 見学の様子・感想

別紙

3. 日時・場所

平成27年10月26日(月) 11:25～12:10

三島市立北上小学校体育館

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、
港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課 堀池

Tel 054-352-4148 Fax 054-353-3072

○見学の様子



《出前講座の様子》



《清水港について学ぶ児童の様子》



《清水港の概要説明の様子(ビデオ)》



《児童代表者よりお礼の挨拶》

【参加者の感想】

- 港湾は大事だということが分かった。コンテナ船はすごく重要なことが分かった。マグロが清水港で約半分水揚げされているのはすごいと思った。【男子】
- 清水港は静岡県で一番でかい港だと知った。ほぼ100%船でいろいろなものを運んでいるのはじめて知った。食料の6割が海外から運ばれてきているのを知ってびっくりした。【男子】
- 港のことはあまり知らなかったけど、いろいろなことが学べてよかったです。特に知らなかったことは、港に必要なものです。防波堤や岸壁や航路は全然知らなかったので、学べてよかったです。港はいろいろなことを考えて工夫していることが分かりました。【女子】
- 港にはあまり興味を持っていなかったけれど、この話をきいて食品は6割海外で港から送られてくるので港に興味を持った。港には大勢の人が働いていて、清水港は静岡の中でNo.1の大きさだということを知った。【女子】
- 港の事をはじめは何も知らなかったけれど、お話を聞いているうちに港のことが分かってきた。船のことや輸入・輸出の話もでてきて、外国とのつながりなども分かった。【女子】